

目次 Contents

- 2 キプロス通信
- 5 新型コロナワクチンの追加接種と小児への接種
- 6 まちの話題
- 7 下野市議会議員選挙
- 8 生涯学習だより
- 11 障がい福祉瓦版
- 12 仁良川地区宅地公売 新規物件追加！
- 14 環境トピックス
- 16 レッツスポーツ
- 20 保健便り
- 22 地域おこし協力隊通信
- 23 みんなで救急医療を守ろう！
- 27 国民年金だより
- 28 図書館だより
- 30 新・下野市風土記
- 31 暮らしの情報
- 46 3月のカレンダー
- 47 国際交流員ウィルペルトのコラム
- 48 イベントカレンダー

※掲載写真の一部は、撮影時のみマスクをはずしています。

今月の表紙

輝け下野エール大使 宇賀地洋子展

今月の表紙は、1月22日から30日にかけて市役所の市民ロビーで開催された「輝け下野エール大使 宇賀地洋子展」の様子です。

宇賀地さんは磯部のご出身で、母子像や仏像などを中心に数多くの作品を手掛けている彫刻家です。安田火災美術財団奨励賞を受賞し、全国各地で個展を開催するなど活躍されていることから、「輝け！下野エール大使」に就任いただきました。

母と子を題材にした作品は、丸みを帯びたフォルムと木のぬくもりが母子のきずなを感じさせます。

このたびは、宇賀地さんの作品を直にご覧いただくことで、宇賀地さんの作品の温かみ、素晴らしさを知っていただくため、展覧会を開催しました。

会場には80点の彫刻や版画が展示され、訪れた方々は、作品をゆったり鑑賞しながら、穏やかな表情を浮かべていました。

今月の何の日

3月9日 記念切手記念日

1894（明治27）年のこの日、明治天皇・皇后両陛下の結婚25周年の祝典を記念し、日本初の記念切手が発行されたことに由来しています。

通称「明治銀婚」と呼ばれるこの切手は、当時の普通切手の約2倍の大きさで、菊の花の御紋章と雌雄の鶴2羽が描かれ、その周りに“IMPERIAL WEDDING 25 ANNIVERSARY”と発行の趣旨が記されています。紅色の2銭と青色の5銭の2種類がありました。

記念切手とは、記念日などの重要な日に発行されることが多く、人や場所、できごとなどを称えるための郵便切手です。

当時の日本には記念切手という概念がありませんでしたが、祝典を記念する切手を発行してほし

いという在留外国人の新聞投書が発端となり、突然、発行が決まったそうです。慌てたのは印刷局で、すでに祝典まで1か月を切るなか、通常1か月から2か月はかかる切手の原版を5日で仕上げ、なんとか発行にこぎつけました。

ちなみに、世界で最初の記念切手は、ペルーが1871年4月に発行したものとされています。南アメリカ最初の鉄道の開通20周年と鉄道延伸を記念して発行され、蒸気機関車が描かれていました。

現在、日本では毎年、数十種にも及ぶ記念切手や特殊切手が発行されています。お気に入りの切手を集めておいて、送る相手のイメージやそのときの気分に合わせて切手を選ぶ、というワンランク上の手紙術に挑戦してみるのも一興です。

■人口と世帯（2月1日現在）

人口／60,191人（-11）、男性／29,922人（+1）、女性／30,269人（-12）、世帯数／25,045世帯（+3）



市ではホームページの新着情報や、災害発生時の避難場所などの情報配信を行います。右の二次元コードからアクセスできます。
下野市公式アカウント @city_shimotsuke

